



自立して社会に貢献できる生徒の育成

南中だより

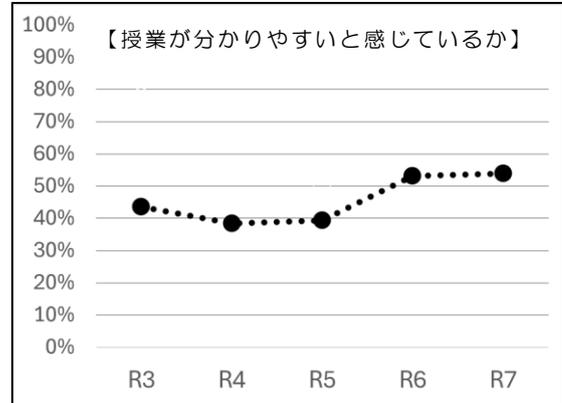
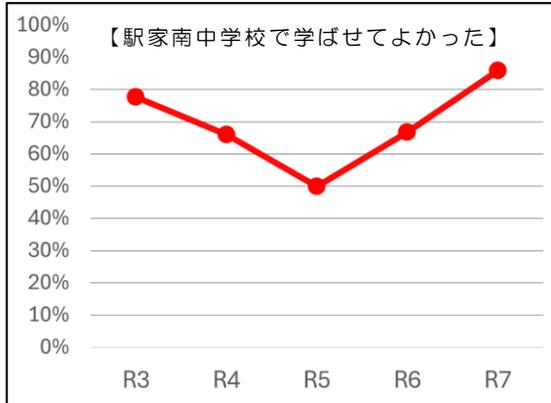


福山市立駅家南中学校

2026年（令和8年）

1月30日（金）NO.10

「これまでの歩み」と「これからの挑戦！」保護者アンケートより



本校では、毎年、保護者アンケートを通して学校の教育活動についてご意見をいただいています。上のグラフは、その中から「駅家南中学校で学ばせてよかったと思うか」「授業が分かりやすいと感じているか」という二つの項目を、数年間の推移として表したものです。

まず注目したいのは、「駅家南中学校で学ばせてよかった」という評価が、ここ数年で大きく高まっていることです。

これは、生徒の学校生活の落ち着き、生徒指導上の課題の克服、体育大会や文化祭などの学校行事の充実など、学校全体として「いい学校にしよう」という合言葉のもと、生徒、先生、地域・保護者の皆様が、ともに積み重ねてきた取組の成果だと考えています。

数年前、本校は決して落ち着いた状況ではありませんでした。生徒指導に追われる日々の中で、厳しい状況が続いていた時期もありました。しかし、その駅家南中学校をここまで立て直してきたのは、ほかでもない生徒と先生です。

特に、3年生の生徒たちは今、「自分たちが学校を変えてきた」という自負をもち、自信に満ちた表情で学校生活を送っています。この姿こそが、現在の高い学校評価につながっていると感じています。

一方で、授業に関するグラフからは、もう一つ大切なことも見えてきます。それは、「授業が分かりやすい」という評価については、学校全体の変化に比べ、まだ十分とは言えないという現状です。これは、今後の取組の方向性を示してくれる、大切な結果だと捉えています。むしろ、学校が落ち着きを取り戻し、生徒が前向きに学校生活を送れるようになった今だからこそ、本来、学校として最も力を注ぐべき「授業」に、正面から取り組む段階に来たと捉えています。次の学校の挑戦は、「いい授業にしよう」です。

授業は、学校の土台です。「いい学校にしよう」と先生と生徒がともに取り組むことで学校が大きく変わってきたように、次は「いい授業にしよう」と一緒に挑戦することで、生徒は、受け身の学習から自ら学力の向上を目指す主体的な学びへと歩み始めると考えています。

将来の進路選択に向けて、確かな学力を身につける授業にしていくことが、これからの大きな目標です。そのためにまず一歩目として、生徒一人一人の状況や思いに耳を傾けていきます。

「よりよい授業を一緒につくりたい。そのために、あなたの思いや意見を聞かせてほしい」そんな姿勢で対話を重ね、生徒のニーズを授業づくりに生かしていきたいと考えています。

駅家南中学校は、これまでも生徒と先生がともに学校を変えてきました。そしてこれからも、同じ歩幅で、次の挑戦に向かって進んでいきます。

保護者の皆様には、今後の取組を温かく見守り、ご支援いただければ幸いです。

2026年度（令和8年度）コミュニティ・スクールのスタート 「学ぶ・つなぐ・支える」

～ まちが教室 ひとが先生 ～



昨年7月、駅家南中学校区の小・中学校の先生、宜山学区・駅家学区の町内会の方々、民生児童委員、各PTAの方々など、約80名が一堂に会し、小グループに分かれて、次年度から始まるコミュニティ・スクールについてグループディスカッションを行いました。

子どもたちを中心に、学校と地域がどのようにつながり、どのような学びをつくっていくのか。学校のこと、地域のことを率直に語り合う中で、本校区のテーマとして、

「学ぶ・つなぐ・支える」～まちが教室 ひとが先生～ を掲げることとしました。

これからの時代、学校だけで子どもを育てるのではなく、地域全体で子どもたちの成長を見守り、支えていくことが、ますます大切になります。立場や世代をこえて、ともに学び、ともにつながり、ともに支え合う関係づくりを進めていきたいと考えています。

本校区ではこれまでも、地域へ出向いての学習や、地域の方をゲストティーチャーとしてお招きする取組、日々の登下校の見守りなど、学校と地域が連携した活動を積み重ねてきました。子どもたちは、多くの大人と関わる中で、人と関わる力や自ら考え行動する力など、「生きる力」を育んでいます。

「まちが教室 ひとが先生」という言葉には、学校だけでなく地域全体を学びの場とし、地域の一人一人が先生となって子どもたちを育てていきたい、という思いを込めています。地域の人や仕事、暮らしに触れる中で、子どもたちが、自分のまちに誇りと愛着をもち、心豊かにたくましく成長してほしいと願っています。

将来、学びや経験を積むためにこの地を離れることがあっても、いつかまた帰ってくる、あるいは離れて暮らしていても故郷を思い、心の支えとして生きていく。そうした思いを育むことを目指し、駅家南中学校区のコミュニティ・スクールは、地域の皆様とともに歩み始めます。これまで同様のご支援をいただきながら、新たな取組にも挑戦してまいりますので、引き続き温かいご理解とご協力をお願いいたします。

入試シーズンを迎えて

1月初めより私立高校の入試が行われました。今年度は、就学支援金の制度の影響もあり、受験者数が増加するとともに、専願受験者の割合も高まりました。その結果、例年以上に厳しい入試となっています。

3年生は、いよいよ2月の公立高校入試を迎えます。体調管理に十分気をつけ、最後まで粘り強く取り組んでいきましょう。

また、1・2年生の皆さんは、今取り組んでいる日々の授業が将来につながります。一時間一時間を大切に、着実に力を伸ばしていきましょう。

私立高校・私立中高一貫校への進学をお考えの
受験生・保護者のみなさまへ

令和8年4月から
所得に関わらず私立高校生
の授業料の負担が軽減されます！

就学支援金

年額 **457,200円** (上限) 支給
(全国私立高校平均授業料相当)

年額 **337,200円** (上限) 支給

※就学支援金の対象は授業料のみである。その他の費用は別途かかる。
※所得制限が適用される場合、その要件を満たしている必要がある。
※この就学支援金は国の制度です。給付を受けるためには
申請が必要ですが、入学決定後に学校からお知らせします。
●令和7年12月現在の情報に基づき掲載しております。
●申請書類の提出期限については、各校の案内を参照してください。

広島県私立中学高等学校協会